

じんけん自己診断 ～こんなときどうする？～

こんな場面に出会ったときあなたならどうしますか？ 選択肢から選んでみましょう！

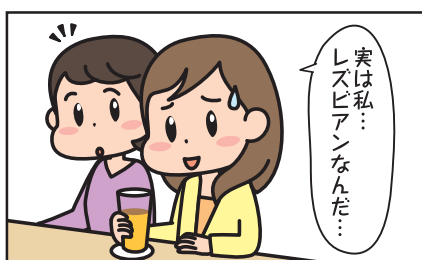
Q1

他人が写っている
写真をネットに
アップしてもいいの？



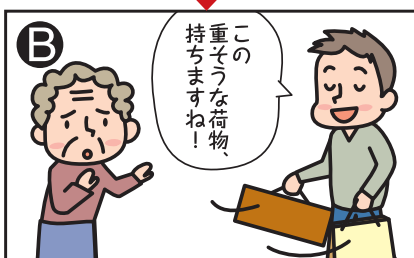
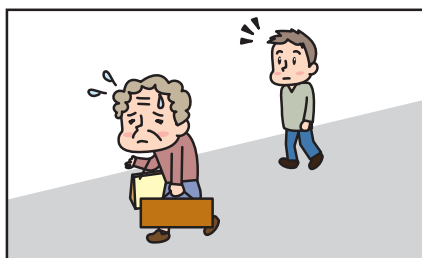
Q2

私、レズビアン
なんだけど



Q3

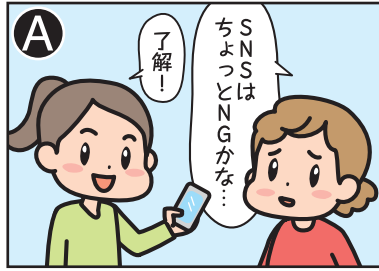
手伝ってあげる



じんけん自己診断 ～こんなときどうする？～

A1

自分の画像をアップすることに抵抗がある人もいる！



解 説

マキはSNSに自分の画像をアップしても気にならない人ようです。でもちょっと待って下さい。写っている人みんなが同じ考えでしょうか。抵抗がある人も少なくありません。

個人や集団にとって危険な情報がインターネット上に掲載されるなど、人権に関わる問題が発生しています。インターネットにより流出した情報は、最初の発信者の意図にかかわらず一瞬であらゆるところに広まってしまう可能性もあります。インターネットを使う私たち一人ひとりの人権意識が大切です。

A2

話を受け止め、第三者に勝手に話すことはやめましょう！



解 説

「男性が男性、女性が女性を好きになる」ことに対しては根強い偏見や差別があります。また、からだの性と心の性との食い違いに悩みながら、周囲の心ない目にさらされて、苦しんでいる人々がいます。

あなたの身近にも苦しんでいる人がいるかもしれません。相談を受けた場合は、あなたを信頼して相談したのだと受け止め、話を聞いてあげてください。また、相手の理解がないのに第三者に話すことは絶対にやめましょう。

A3

相手が必要とする配慮や支援を行いましょう！



解 説

日本では、少子高齢化が急速に進んでおり、世界に例を見ない「超高齢社会」の時代を迎えています。高齢者が、安心して自立した生活を送ることができるように環境を整えることがこれからの課題です。ただし、「高齢者は助けてあげなければならない存在」という先入観で、相手ができることや望まないことまでやってしまうことは、自尊心を傷つけ、不快感を与えることにもなりかねません。まずは、どのような支援を必要としているのか、率直に聞いてみましょう。その上で、相手が必要とする配慮や支援を行うことが大切です。

